

アイアイエー
一宮市国際交流協会(IIA)ニュース

IIA
Ichinomiya
International
Association

かけはし

vol.1



vol. 100

2025.7

一宮市国際交流協会

Instagram



Facebook



Website



いちのみやしこくさいこうりゅうきょうかい かいちょう

一宮市国際交流協会 会長メッセージ

「かけはし」は一宮市国際交流協会を設立した1991年から発行しています。ボランティアの皆さまのお力添えにより30年以上の年月を経て、ついに100号を迎えることができました



2023(令和5)年7月

アメリカシットングバレーボールチーム来訪

た。あらためて、これまで取材や記事の執筆などにご協力いただきました皆さまに感謝を申し上げます。

一宮市の外国人人口は、当協会の設立当時は3,463人でしたが、2025年5月1日現在では9,231人となり、30年余りで3倍近く増えました。当協会は国際交流を中心に事業を展開してきましたが、外国人人口の増加を受け、ますます多文化共生事業の重要性が高まっていると考え、これからもさまざまな取り組みを強化し、市民の皆さまの生活をサポートしてまいります。



会長 一宮市長 中野 正康

いちのみやしこくさいこうりゅうきょうかい

一宮市国際交流協会のあゆみ

一宮市国際交流協会は1991年に設立され、今年で34年目を迎えます。設立以降、地域社会の国際化や国際交流の推進のため、いろいろなイベントや活動を行ってきました。今日までの協会の歩みを、懐かしい写真で振り返ります。

1990

1991.10月
協会設立



↑世界に開かれたまちづくりをめざして、市制70周年を“国際化元年”として位置づけました。

1990



↑国際交流ともだちフェスタ
“はーと to ハート”↓

1995



1999



↑国際交流ソフトバレーボール



↑七夕まつり
地球みこしパレード

ふれあい
バーベキュー↓



↑国際交流ハイキング

2000

2000

2005
あい ちきゅうはく
愛・地球博



2005

2007
トレビーズ市との
交流開始



2009

2010
2013.1月
トレビーズ市と
友好都市提携



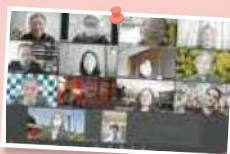
2010

2015

↑「人と人との結びつきを
大切にした交流を通じて、
お互いに発展し、次代を
担う子どもたちに輝かしい
未来を残しましょう」と固
い握手が交わされました。

2019

2020



↑コロナ禍はオンラインで
の交流を行いました。

2020

2025



↑ 国際交流運動会 ↓



↑ボスニア・ヘルツェゴビナ
民族音楽舞踊団との交流



↑日本料理講座



↑イタリアフェア↑



↑絵手紙交流



←旅するいちみん



↑中学校 海外派遣

↓フレンドシップフェスティバル・オンライン↓



↑アメリカシッティングバレ
ーボール選手との七夕交流



↑名古屋大学短期プログラムホームステイ



↑祝おう！旧正月

歴代の国際交流員

①1990-1992	Michael Mcaninch Troy	
②1992-1994	Joshua Daniel Sitzer	
③1994-1996	Michael Joseph Caronna	
④1996-1998	William Andrew Trinen	
⑤1998-2000	Cindy Michelle Pitkin	
⑥2000-2003	Scott Allan Morrice	
⑦2003-2006	Kazushi Matthew Muir	

⑧2005-2008	Lisa Dal Busco		⑩2014-2017	Roseanna Marie Finkle-Vern	
⑨2006-2009	Yvonne Ming Yi Kong		⑪2015-2016	Massimo Dalla Pria	
⑩2008-2009	Bjorn-Ole Frederik Kamm		⑫2016-2019	Alessandra Grillo	
⑪2009-2011	Raven Brittany Parsons		⑬2017-2018	Jonathon Dodsworth Rudd	
⑫2009-2011	Pui Ki Lau		⑭2018-2021	Kassandra Louise Ordenez Lotivio	
⑬2011-2012	Guido Scarabello		⑮2019-2022	Alessio Vignera	
⑭2011-2014	Jackleen Sara Ryder		⑯2021-	Alice Xinyao Yang	
⑮2012-2015	Valentina Braidà		⑰2022-	Chiara Scardellato	

ニュージーランド料理セミナー ～ Whitebait Fritters & Afghan Biscuits ～

尾西生涯学習センター 3月1日

このニュージーランド料理セミナーは人気が高く、抽選による参加となりました。定員いっぱいの24名が6班に分かれ、参加者4人と料理補助ボランティア1人が各班に付きま



た。男性単独や子どもの参加も見られ、老若男女の教室といった雰囲気ではじまりました。

今回は国際交流員でニュージーランド出身のアリスさんが講師です。彼女が幼いころ、よく食べていたと言うアフガンビスケットと小魚を入れたホワイトベイトフリッターを調理しました。

まずはアフガンビスケット生地をオーブンに入れます。焼いている間にアリスさんがお正月休みに帰国した時の写真を交えニュージーランドについての説明がありました。子どもたちからはいろいろ質問も出て、オーブンでの焼き時間も退屈せず楽しく過ごせました。

焼きあがったビスケットにココア味アイシングを作って、くるみを乗せて完成です。

次にフリッターの調理です。ボウルに卵と生シラスをいれて混ぜます。ニュージーラン

ドでは気候変動で小魚の漁獲量が減り、最近では希少な料理となっているとの説明がありました。日本でも生シラスは貴重品になってい



ますので、皆さん一匹残らず丁寧にボウルに入れていました。混ぜたら味を整えフライパンで焼きます。いたってシンプルな料理です。できたら、先ほどのアフガンビスケットと食パンにバターを塗って、盛り付け、完成です。

「皆で協力して作ったので、その分もおいしさが増しました」、「生シラス入りでとてもおいしかった」、「ビスケットはそれほど甘くなく素朴な味でした」など、全員で楽しくいただきました。

一宮市のケーブルテレビICCの取材もあり、次の週に放映されました。このニュージーランド料理セミナーの人气がますます上がっていくと、定員の増加も必要かも知れませんね。

(あんちゃん)



【ニュージーランド国際交流員】 アリスさんからのメッセージ

『かけはし』100号発行おめでとうございます。Congratulations!

振り返ると、着任の挨拶を載せた90号から3年あまり、料理セミナー等のたくさんのイベントを手掛けてきました。その様子について毎回素晴らしい記事をご執筆いただきました

ボランティアの皆さま、本当にありがとうございます。

これからもどうぞよろしくをお願いします。





ジョキアーモ GIOCHIAMO!イタリアの人生ゲーム

かみやまこうみんかん だい かいぎしつ がつようか
神山公民館 大会議室 2月8日

しょうがくせい たいしやう じんせい
小学生を対象に、人生ゲームをしながらイ
タリアの文化を楽しく学ぶセミナーが開催されま
した。

日本からイタリアに旅行に行った設定で、首
都ローマから人生ゲームはじまります。順番に
サイコロを振り、出た目の数だけ国際交流員キ
アーラさんが作ったゲーム盤上の都市を進みま
す。たとえば、カタンザーロ市に止まると、名
物サラミ「ンドゥイヤ」を試食し辛すぎて水を探
すため一回休みになるなど、駒を進めることで、
その土地の名物や特徴を知ることができるよう
になっています。サブブックが用意されていて、
各都市の文化や習慣も一緒に学べるように工夫

されていました。

ゲームの後は、ローマ王国の初代王様ロムル
スが双子のレムスとともにオオカミに育てられ
た伝説など、キアーラさんからより掘り下げた
説明を聞くことができました。



セミナー 終了
後、「細かいこと
まで知ることがで
きたから、よりイ
タリアに興味がわ
いてきた」と言っ

ていた子もいました。ゲームを通して知識欲を
かき立ててくれるセミナーでした。（伏原）



【イタリア国際交流員】 キアーラさんからのメッセージ

CONGRATULAZIONI
PER IL CENTESIMO
KAKEHASHI!

かけはし 100 号おめでとう
ございます!

Ciao a tutti! 皆さんこん

にちは!キアーラです。このメッセージを頼まれ
たとき、「どうしよう…!」って少しパニックに
なっちゃいました。少しだけです!

でもまずは、親善ボランティアの皆さまと、



いつもイベントに来てくださる皆さまに感謝の
気持ちを伝えたいと思いました。この 3 年間、
あたたかく迎えてもらって本当にうれしかった
し、楽しくお仕事させていただきました。

これからもいろいろな楽しいイベントを企画
して、毎回イタリアの新しい一面を紹介できる
ようにがんばっていこうと思っています。これか
らもうよろしくお願いします! Ci vediamo!
またね!

ボランティアグループ紹介

いちのみやし こくさいこうりゅうきょうかい かつどう いちのみやし こく
一宮市国際交流協会の活動は、一宮市の国
さいこうりゅう ちゅうしん かつやく しんげん
際交流の中心となって活躍いただく親善ボラ
ンティアの皆さまに支えられています。

ここに各ボランティアグループの内容を、
グループリーダーのコメントとともにご紹介
します。



ニュース

きょうかい きかんし
協会 機関紙「かけはし」の
しゆざい へんしゅうとう びんさく
取材・編集等に携わる

きょうかい しゆざい しんぶん
協会イベントなどを取材し、見
て感じたことを文字や写真に
して一緒に発信してみませんか？

通訳・翻訳

こくさい じぎょう かつやく ほんやく
国際事業にかかわる通訳・翻訳
をおこな
を行う

しみん せかい ことば か
市民と世界をつなぐ言葉の架
け橋、あなたの言葉(言語)で助
かる人がいます！

ファシ138

こくさい り かい きょういく
国際理解教育のためのワーク
ショップを実施する

ワークショップによる国際理
解教育に関心がある方、まずは
気軽に見学に来てください。

ホームステイ

がいこくじん
外国人のホームステイの受け入
れをする

日本語ひろば

がいこくじん こうりゅう にほんご
外国人と交流しながら日本語や
ぶんか おし
文化を教える

(いちのみや)
しゅういち がいこくじん ふ あ
週一で外国人と触れ合うため、
ふか にんげんかんけい きず たが くに
深い人間関係が築け、互いの国
がわかったり新発見ができますよ。

(びさい)
たよう もくてき も にほんご
多様な目的を持って日本語を
まな べん べん
学ぼうとやって来る外国人に
対して個々に対応しています。

日本語ひろば ジュニア

がいこくじん じどう にほんご おし
外国人児童に日本語を教えたり
じゆぎょう おこな
授業のフォローを行う

いろいろな国の子が楽しく学べ
る居心地の良い居場所作りを
目指しています。



日時・場所・Q&A
など詳細はこちら

グループ名

おも かつどう ないよう
主な活動内容

リーダーから一言

イベント班

こくさい こうりゅう しかく
国際交流イベントなどの企画・
じゆんび うんえい おこな
準備・運営を行う

イベントで企画したゲーム等
を楽しむ来場者の皆さんの笑
顔が、何よりうれしい私たちで
す。

クッキング班

がいこく りょうり こうざ とう りょうり づく
外国料理講座等での料理作り、
ちようり ぼじょ
調理補助をする

いろいろな国の料理を作るお
手伝いをします。お料理の好き
な方、興味のある方はどうぞ。

とうきょうかい しんげん
当協会では、親善ボランティア
を随時募集しています。
ざいじ ぼしゅう
複数のグループへの登録も可
能です。ぜひ興味のあるグルー
プにご登録ください！

おとなりさん

今回は記念すべき「かけはし第1号」の「おとなりさん」にも登場した木村エリンドさんです。エリンドさんはフィリピン出身で一宮市在住38年です。一宮市国際交流協会運営委員会のメンバーで、「交流活動を行っている外国籍市民代表」を務めています。市内の小中学校などで外国語指導助手や日本語指導員として長年活躍し、また「一宮フィリピンコミュニティ」を立ち上げて、現在もアドバイザーとして積極的に活動しています。その長年の功労が認められ、昨年11月に「愛知県多文化共生推進功労者表彰」を受賞し表彰されました。

このように超多忙なエリンドさんにプライベートな時間の楽しみ方を聞きましたが、毎日忙しく趣味に没頭できる時間はないとのこと。しかし、ドライブでいろいろ出かけることは好きだそうです。今年は教会の行事で富山へ行く予定なのでドライブだけでなく、行った先で遊ぶことが楽しみ

だそうです。いちばん好きな場所は日間賀島で「平和で小さい島なので安心して歩けるし、大好きな海の幸が美味しく温泉もあるのでまた行きたい」と笑顔で話してくれました。

日本に約40年住んでいて、フィリピンの文化も日本の文化もどちらも好きなエリンドさんですが、そんな彼女がいまだに感じていることは「日本人ははっきりものを言わないから本心が理解しにくい」、また「今でも外国人に対する偏見を感じることもある」ということです。外国人に対する偏見がなくなるよう、今後も多文化のわたちが共生できる社会作りの手助けをしていきたいとのことでした。(katsu)



ia information

IIA presents 世界の昭和

「第70回おりもの感謝祭—宮七まつり」の特設ステージにて、外国の音楽や踊りを披露し、昭和時代のそれぞれの国について紹介します。

- ▼ 日時 / 7月24日(木曜日) 午前10時から11時まで
- ▼ 場所 / 尾張一宮駅前ビル(i-ビル) 3F シビックテラス 七タステージ
- ▼ 出演者 /



イタリア バイオリン演奏
サルヴァトーレ
ピエーディスカルツィ



トルコ ベリーダンス
ネシェ
ベリーダンススタジオ



フランス・アメリカ
サクソフォン・キーボード演奏
Duo Marroon

世界をあそぼう!フレンドシップフェスティバル2025

世界各国に関するステージパフォーマンスやクラフト体験など、大人も子どもも楽しめる国際交流フェスティバルを開催します!

- ▼ 日時 / 9月23日(火曜日・祝日) 午前10時から午後5時まで
- ▼ 場所 / 尾張一宮駅前ビル(i-ビル) 3F シビックテラス

*各イベントの詳細につきましては後日ウェブサイトにて公開いたします。

100号 特集 おしごをたす 教え子を訪ねて リョコウ ベトナム旅行

外国人向け日本語教室「日本語ひろば」のボランティア6人が、日本語ひろばで勉強していたゲスト(教え子)に会うために、2月27日～3月3日でベトナムのハノイに出かけて来ました。

準備として2か月前からベトナムのゲストに呼びかけを開始して、結果17人が来てくれることになりました。コンタクト中には、ハノイ市以外から、「子どもが生まれたばかりで移動できません。私の街へ先生来てくれませんか。」などのメールもあり、たくさんのゲストの近況も知ることができました。ただ残念なことに不慣れな外国、旅先はハノイ市だけになりました。セントレアを飛び立ち、旅が始まりました。



1日目は参加メンバーの教え子家族との食事会。

2日目、初ベトナム旅行のメンバー3人は、ツアーでハロン湾へ。残りのベトナム再訪問のメンバー3人は、20年前に日本語ひろばゲストで、今は日本語学校を経営している女性の案内でハノイ市内観光。そのガイド役の彼女とは、メンバーの1人が「20年前にあなたが日本語を教えていた先生と仲良く買い物をして、観光に出かけました。行った観光先は、ガイドブックにもない大きな門のあるラン寺でした。お昼は、ベトナム料理の美味しい名店に足を運び、生春巻き・青菜炒め・バインセオ(ベトナム風お好み焼き)など家庭料理を食べながら、観光そっちのけで、日本語で2

時間おしゃべりに花を咲かせました。ベトナムは、新興国で経済発展も速く、彼女もその変化に対応するのがたいへんようでした。そしてホテルに戻ると、今度は別のゲストが仕事帰りに、大きな柑橘類を持ってバイクで訪ねて来てくれました。こんな状況で2日間が過ぎました。

3日目は、12年ほど前に帰国したゲスト4人と子どもたち3人も加わり総勢13人が3



台のタクシーを使い観光地を回りました。ただ、ベトナムの発展と人口増加のために、交通渋滞で思うように観光できませんでした。そんな中でも、ホーチミン・タンロン遺跡・水上劇場を観光。お昼は、魚料理店でナマズ料理を食べました。食べている間も近況報告と昔話で会話がはずみました。そしてホテルに帰ってからもおしゃべりが続きます。

最後の4日目、今回最大のゲスト12人とその家族(奥さん、子どもたち)4人と私たちの総勢22人が文廟、ハノイ大教会に大移動。人数も多く途中で迷子の発生もありましたが楽しい1日でした。昼食はベトナムの家庭料理をご馳走になってしまいました。車を持つゲストも多く、一部移動にはマイカーを用意してもらいました。最後は、ホテルに戻り、ホテルでもおしゃべりが続き、順番に帰るゲストをホテルで見送り、私たちもハノイ空からセントレアに、たくさんのゲストからのお土産と思い出を持って帰って来ました。(佐野 直道)

編集後記

家庭菜園を始めた。さあ夏野菜と意気込んで始めたのはよいが、まず興味が湧いたのが鍬や超小型耕運機。道具好きの性分はいくつになっても変わらないし、好奇心が衰えていないことに喜びすら感じる。土いじりをしていると、ゆっくりと時間が流れていることにふと気づく。芽が出て、葉が開き、実がなる。その自然のサイクルに身を置きながら私の心も少しずつほぐれていく。土と向き合う時間、それは心を耕しているのかもしれない。(you都市)

発行：一宮市国際交流協会 (〒491-8501 一宮市本町2-5-6 一宮市役所本庁舎9階 観光交流課内)

- 一宮市の国際交流協会の中心となって活躍いただく親善ボランティアを随時募集しております。
- みなさんも親善ボランティアに参加しませんか？お気軽にお問い合わせください。
- *この「かけはし」も親善ボランティアにより取材・編集されています。
- ご意見・ご感想をお待ちしております。【TEL:0586-85-7076 E-mail:kokusai@city.ichinomiya.lg.jp】
- 当協会に関する情報はウェブサイトをご覧ください。【WEB:https://www.city.ichinomiya.aichi.jp/iaa/】